



皆さんこんばんは！komodo inc.の「教えて！コモドインク！」vol.5でございます。今月もじっくりご覧あれ！とその前に、コモドから大事なお知らせ！来月の23日にkomodo inc.は1stミニアルバム「APARTMENT」をリリースすることが決定しました！そして同日アメ村のFANJtwiceにて初企画を開催！！そしてそして、初企画を記念してkomodo inc.TVという動画をyou tubeにて配信しているので要チェックですぞ！！まったく浸透していませんがコモドインクマンもよろしくね！



教えすぎちゃって!

pianoVo.おただしこと、両部両志があなたの生活のお悩みに真摯にお答えするコーナー！

今月のお悩み

両部さんこんばんわ！

私には1年半付き合っている彼氏がいます。この間、彼に「私のどこが好き？」とメールをしたのですが、返事が無くして凹んでしまいました... 前々から、好きだよとは言ってくれるのですが、具体的に褒めた事に返事が無かったので、特に好きなどころなんて無いのかな？と落ち込んでしまいます。もしくは愛情表現が苦手なだけなのでしょうか。

どうしたら彼にどこが好きだって言ってもらえるのでしょうか?? お返事お待ちしております>_<)

おただしの回答

このコーナーでは、おただしに聞きたい事や、お悩み相談などを受け付けております。info@komodo-inc.comまでどしどし送ってね！



そういえばこないだ、考えていたことがありまして。わたし、チャーハンが大好きなんです。そしてこないだお気に入りのお店のチャーハンを食べながらふと思ったんです。「わたしはこのチャーハンがこんなにも好きなのに、チャーハンはわたしを好きかどうか分からない！」と。いや、もちろんチャーハンがしゃべり出すことなんてないから分からないし、そもそも食べ物だしナンセンスなのは承知してます。

でも食べ物に対しては自分だけの「好き！」だけで済むのに、それが人に置き換わったとたん、こうもこじれてしまうのは何故なんだろう、自分の好きだけなら、こんなにシンプルで素敵なのに！と。

その常々わたしも思うんです。どうしてこう見返りを求めたり期待をしてしまうんだろうと。だから余計な恋しみを生んでしまうのに、なんて愚かなんだ！って。でもそのチャーハンが教えてくれたのは、「チャーハンが私を好きかどうかはわからなくても、私間違いないでチャーハンが大好き！」ということでした。

大好きなチャーハンを食べる時に、チャーハンに好かれてるかびくびくしながら食べても絶対おいしくないのです。

もちろん、チャーハンと恋人を同じに思えなんて言わないけど、私たちが見失いがちなのは、自分の気持ちだと思うのです。

相手の気持ちを探るなんて、あてもなく宇宙の果てを探るようなものです。だったら、まず自分の好きだという気持ちを大事にしたほうが素敵じゃないかと思えます。そしたら、相手との距離も自然と見えてくるかもしれないし、

むずかしいけど、グットラック！

今回からコーナーをいじられるようになったドラマのヤマザキです！世間一般にあふれる甘い食べ物、それらについて物申したり、戸さなったり、そんなコーナーです。

甘いものに物申す!



リーダー林大輔のエビでタコを釣る

我が家には蛍光灯がない。大学二回生で実家を離れ、このマンションに引っ越してきたんだけど、そのとき常設されていたシーリングライトが気に入らなかったので取っ払ってしまったのだ。

当時読んでいたインテリア関連の本に出て来る部屋の照明には、洋灯開かず、もれなく白熱灯が使われていたもので、それを新居に取り入れることは自然なことだったわけである。こうして学生の少ない予算で間接照明を買い揃え、ちょっとオシャレな部屋を取ってみたいんだけど、友人や親・兄弟からは非難を受けてしまった。

北政の家庭じゃ蛍光灯なんて使わないんだぞコノヤロー！という言葉を飲み込んだ僕は、谷崎潤一郎の随筆「随筆礼讃」を思い出していた。かの氏は作中で、陶器、漆器、料理、能、果ては女性などを挙げ、それらが随筆と切っても切れないものであると述べている。「出来るだけ全体を盛り込んでしまおうようにしーある一箇所を際立たせるようにした。——われわれは見えないものを考えるには及ばぬ。見えないものは無いものであるとする。」

暗がりを受容する。佻び寂びに似た心情がスウェーデンの人にあるかはわからないけれど、白熱灯を好んだあの頃の青年ハヤシは確かにそこにいた。そして今だって。

我が家には蛍光灯がない。でも、ほんとうはちょっと欲しい。

林大輔

はやし だいすけ ● 1987年3月1日、大阪府豊能郡出身。12歳の頃にギターに出会い、18歳の頃バンド活動を始めるが、作曲や作詞を行う。足が臭い。絵が下手。

それでは記念すべき第一回目の話題ですが、「抹茶味」について少しお話を。以前、「お菓子の抹茶味は当たり外れがある」という指摘があったのです。確かに抹茶テイストのお菓子やスイーツには様々なタイプがあります。僕個人の味覚での判断ですが、甘さを強調しすぎているもの、はたまた少し粉っぽく感じるもの(ドリンク系に多い)、更にはメロンかと思ってしまうほど抹茶とかけ離れているもの(これが意外と多い!)。色々な抹茶味が世間にはあるわけですが、僕としてはその「様々な味」を楽しんでいただきたいのです。

おいしい抹茶には、お茶屋さんに行けばいつでも合えるのです。ですが、ただの街中でそのおいしい抹茶にどれだけ近づけるか、そこを探求することはとても楽しいものです。自分の目で見て選んで、ヘンテコな味を楽しむ、それを可能にするのが抹茶味のお菓子なのです。



ベース・ケロの変な島で育つ

最近、2つ上の兄に子供が生まれた。可愛らしい女の子である。私には上に4人の兄や姉がおり、長男とは16歳も離れている為、気付いた時には既に甥や姪が生まれていたが、何だか経験しても兄弟の子供が誕生するのは大変喜ばしいことである。地元宮古島では両親はもちろん親戚中が喜び、兄の子供の誕生を祝い、飲み明かしたそう。さっそく兄は飲み疲れていたが、宮古島の人々はそれだけでは終わらない。これから子供が成人するまで、数々の祝い事、つまり盛大な飲み会が繰り広げられるのである。

というのも、宮古島では子供に関する祝い事がほんとうに多い。子供が誕生し名前を付けるお祝い。これを「ナンフィー」といい、これにも親戚中が参加する。ナンフィーに続き、1歳記念、七五三、小学校の入学、13歳のお祝い、高校合格祝い、成人式、と、名前だけ聞くと一般的な祝い事であるが、宮古島の場合は自宅に家族や親戚、両親の職場の人、さらには近所のスーパーのおじさんまでも招いて宴を行うのである。大人達は子供の成長を願うという名目で夜遅くまで飲み続けるのだから、祝われているはずの当の本人は、招いたお客さんの為にせせせと家の手伝いをしなければならぬ為、子供にとっては主旨がよく分からなくなるのである。

もちろん、上記のお祝い事はひとつの家だけでではないので、共通の知人ばかりの宮古島では各家庭をハシグする人も少なくはない。「今日は15軒お祝いに行かないといけんさ〜」なんて当たり前な事である。

そういったお祝い事の多い島だけれど、それ故に繋がりの深い、助け合い精神に満ちた暖かい島なのであろうと思う。

そんな数々のお祝いを受けてきた私は、島の人達に感謝の気持ちを忘れず、そして兄にこれから頑張ってくれよと思いつつ、都会でしっかり飲むのである。